

情報メディア学科の掲示板を電子化する提案

【 研究系卒研 】

1023181 山下 晃平

(指導教員 速水 治夫 教授)

1 はじめに

神奈川工科大学には、全体の掲示板とは別にそれぞれの学科ごとに掲示板が存在する。情報メディア学科の掲示板は情報学部棟の6階に存在しており、主に休講の情報や学生の呼び出しの情報を扱っている。非常に重要な掲示板なので、原則としては毎日確認しなければならない。現在の掲示板には問題点が2つある。まず、6月に情報メディア学科の学生にアンケートを行った結果、この掲示板を毎日閲覧している学生は40人中0人と全くいないことがわかった。この状況では、必要な情報を見落としてしまう可能性もある。次に、現在の掲示板では張り出された連絡事項に関して教授に質問を行う場合、個人で連絡を取らなければいけないので、教授は多数の学生から何度も同じ質問を受けてしまう可能性がある。この2つの問題点を解決するため、掲示板の閲覧率を上げ、教授が同じ質問を何度も受けないようにしなければならない。そこで掲示板の電子化を提案する。掲示板が電子化された場合、学生に対しては、6階の掲示板を直接見に行かなくても自宅や出先からブラウザを通して掲示板の内容が確認できるメリットが存在する。また教授側も、出先からでも掲示板連絡事項を投稿できるほか、紙媒体を貼りに行く手間を省くことが出来るメリットが存在する。

2 試作システム

本システムは、本学の情報メディア学科生を対象とし、情報メディア学科掲示板の電子化を提案する。

2.1 機能

本システムを利用するには、学籍番号とメールアドレスを登録が必須となる。教授に関しては、事前にパスワードをこちらから提供しそれを入力してログインする。この電子掲示板は3つの機能があり、(1)「投稿」(2)「質問」(3)「閲覧」であり、以下に機能を記す。

(1) 投稿

この機能の使用は教授のみが可能である。学生に伝えたい内容を「呼び出し」「授業」「その他」の中から選択し投稿する。仮に呼び出しを行う場合、学籍番号を入力するフォームが必要なので、選択肢によって適切な投稿フォームに遷移されるようにする。また、提出期間などといった期間を設ける連絡事項に関しては、三日前になると警告を出すようにする。

(2) 質問

教授が投稿した連絡事項にスレッド形式で質問

をすることが可能である。この質問内容は全ての生徒に公開される。教授はこの質問に回答することが可能である。

(3) 閲覧

学籍番号とメールアドレスを入力しログインすれば、掲示板は自由に閲覧することが可能である。

2.2 画面遷移図

本システムの画面遷移図を図1に記す。

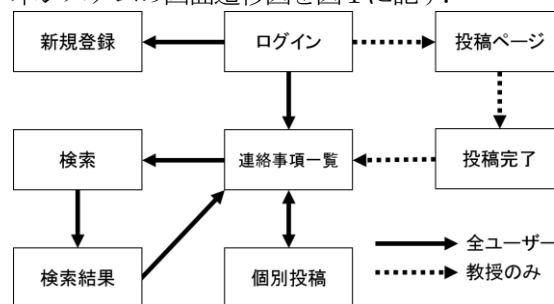


図1 画面遷移図

3 評価実験

本システムを本学の情報メディア学科生8人に一週間利用し、アンケートに回答して頂いた。アンケートの結果、本システムは連絡事項一覧が見やすく、必要な情報を見逃さないものだとわかった。また、従来の掲示板との閲覧回数を比較したところ、平均0.8回だったところが、本システムを使用した場合、3.3回まで上げることができた。これにより本システムは情報メディア学科の掲示板の閲覧回数の向上に繋がると考える。

4 おわりに

今後はシステムを教授にも使用しやすいようにインターフェースに仕上げていきたい。また、期間が終わった連絡事項を自動で消去する機能も搭載したい。

参考文献

[1] PHPbook
<http://www.phpbook.jp/>, [参照日 2013.07.13]

[2] Web データベースの構築技術
コロナ車 速水治夫著 古井陽之助 服部哲 共著
[参照日 2014.1.20]

卒論予定表